

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や手術時に切除した臓器の一部（ホルマリン固定後標本）などを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞など）を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	大腸癌原発巣および肝転移巣における腫瘍周囲環境に関する検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 肝胆膵・乳腺外科学 (職名) 医員 (氏名) 岩田みく
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2025 年 12 月 31 日
対象	2015 年 1 月から 2022 年 12 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち大腸癌肝転移と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、病理結果、治療経過、転記等の情報 等 (利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料 (血液・細胞など)
研究の概要	過去に当院を受診された大腸癌肝転移と診断された患者さんの大腸癌や肝転移に関する情報および手術検体から得られた組織を収集して、両組織を比較することで原発巣と肝転移巣の腫瘍周囲環境の違いを評価する研究を行うことといたしました。この研究は今後の大腸癌肝転移を有する患者さんの診療にも役立てられると考えています。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として

	倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 岩田みく 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5327